派 遣 留 学 報 告 書（短期・学生）

（記入日：　2025年11月18日）

所 属 学 部 ・　コース	法学部　　昼間　コース　　（留学開始時点の学年：　1　年）
学 生 番 号 ・　氏　名	
留学先大学	國立政治大學　　（　台湾　）
留学プログラム名	台湾人権発展演習（台湾SV）
留学期間	2025　年　9　月　2　日　～　2025　年　9　月　10　日

１．事前準備・手続きについて

いつごろから準備を開始したか	6月中旬ごろ
具体的な手続きについて	・航空券や海外旅行保険の申込 ・留学届等の大学への提出書類の作成 ・渡航国の災害や感染症情報の確認 ・台湾の歴史に関する事前学習（8月～） ・渡航準備（8月～）
ビザの有無 （ビザ有の場合は取得手続きについても記載ください）	有　・　(無) 有の場合取得手続き：

２．所要経費について

総額	120,000　円（程度）
内訳	渡航費（往復）：　50.000　円
	保険料：　5,000　円
	宿泊にかかる費用：　35,000　円
	プログラム費/教科書代：　3,0000　円
	通信費：　2,500　円
	その他（　費）：　円
	その他（　費）：　円
	その他（　費）：　円
留学で取得した奨学金等 （取得した奨学金情報と金額を記載ください）	法学部後援会　補助金　30,000円

３．留学中

留学中に使用した言語について	英語、中国語、日本語
授業について	戦後台湾の歴史（ニニ八事件や白色テロ）や経済復興（アメリカ・日本の支援と冷戦）、大陸中国との現在の関係などについて國立政治大學の前野教授・李教授の授業を受講した。

体験・課外活動について	ニニ八紀念館や中正記念堂、国家人権博物館など戦後台湾の歩みや政治的動乱を学ぶことのできる場所・跡地に訪問した。 また政治大學内の図書館や故宮博物院といった文化的・学術的な視点で台湾を考えることのできる施設も見学した。
留学中の宿泊情報について	住居の種類：　ホテル　・　寮　・　その他（　　） 手配：　自己手配　・　プログラム込　・　その他（　　） 同居人の有無：有（2人部屋） その他参考になる事項： 最終日は空港付近のホテルに滞在する（1泊）
留学先での生活について	健康管理・衛生面について：特に問題なく過ごせる。水道水は飲まない方が良いが、食事等は特に日本と変わらない（香辛料は多用されているので胃腸が弱い方は気をつけた方がいい）。 その他生活等に関して参考となる事項：クレジットカードが便利。Lineペイを利用できる店舗も多くあった。

４．留学を通じて得た成果や後輩に伝えたいこと

台湾有事や親日国などニュースで取り上げられる表面的な台湾と、実際に訪れ、学んだ台湾には様々な差異や見えていなかった複雑さがあり、多くの衝撃を受けた、印象深い経験になりました。

私は特に政治・外交の視点でフィールドワークを行いましたが、これからの国際協力や経済貿易について向き合い、考える機会にもなったので、こういった分野に関心のある人にはとても有意義なプログラムになると思います。

※報告書およびその内容は，留学希望者への情報提供のため，法学部ウェブページでの掲載，事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。（氏名及び学生番号については，非公開とします）

※この報告書と合わせて公開可能な写真がありましたら，合わせてメール添付にてご提出いただき，写真のキャプションをメール本文でお知らせください。